

翔陽

秋田

ワークセンター



日帰り旅行 道の駅象潟にて



全国障害者スポーツ大会 滋賀にて（石山久美子さん・左、藤井信明さん・右）



山形県コロニー ベーカリー事業見学

大寒を迎え、一段と冷え込みが厳しい日々が続いておりますが、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当施設では感染症対策を行う中で行事の開催をしております。利用者様がワークセンターを利用してよかったと満足した生活が送れる様、施設内外の活動を広げ、皆様に楽しんでいただけるよう、職員一同努めてまいりますので協力賜りますようお願いいたします。

所長 高橋 正喜

安心・安全にそして充実した日々を

就労B型視察研修旅行

(7月3日・4日)



将棋むら天童タワーにて



料理おいしいです！



いただきまーす

就労B型の利用者様とご家族様及び職員で視察研修旅行を実施いたしました。今回は一泊二日の日程で山形市の「山形県二一協会」を視察させていただきました。就労の作業では、パンの製造販売を行う軽作業等の他、印刷事業においては書籍のスクリーンによるデジタル化といった作業も行っており、大変刺激を受けました。視察後は天童温泉で、温かいお風呂と美味しい料理を楽しみ、日々の作業の疲れを癒しました。二日目は、天童市内にある王将果樹園にて旬のさくらんぼ狩りを行い、お腹いっぱい食べてきました。



生活介護日帰り旅行



(6月10日、9月10・17日、10月1・2・8日)



ツキノワグマをバックにハイポーズ



また来たいね

数回にわたり日帰り旅行を行い二十七名の利用者様が参加しました。「動物園コース」と「博物館コース」の二コースを設定し、動物園コースは大森山動物園へ行き、園内を散策し多くの動物を見てきました。「何年ぶりにきたべか」と来園を懐かしむ声が多く聞かれました。また、博物館コースは県立博物館と土崎みなと歴史伝承館を見学しました。みなと伝承館は初めて訪れる方が多く、巨大な曳山に圧倒されながら港ばやしに耳を傾け、多くの展示で学びを深めました。



もっと食べる？



これ、おみやげにします



心いきいき芸術・文化祭



(9月19日～23日)

【いきいきマルシェ(製品販売)】

県内の障害者団体や事業所が製作した手工芸品やお菓子、パン、野菜等の販売があり、当施設では軍手やティッシュボックスカバー等を出品しました。

今後、就労B型の利用者様が一生懸命製作した賞品の販路拡大をすすめていきます。



【秋田県障害者芸術福祉展】

就労利用者様の小野千寿子さんと菊地俊太郎さんが出展いたしました。小野千寿子さんは、書道で優秀賞、菊地俊太郎さんは絵画で奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。



小野千寿子さんの作品



菊地俊太郎さんの作品



販売風景



買い物・外食支援



(10月15・16・22日・11月11・12・19・26日)

日々の生活に変化と楽しみを加えていただくため、イオンモールまで「買い物・外食支援」に行ってきました。ショッピングでは、それぞれ好みのお菓子や日用品をじっくりと品定めされており、「自分の好きなものが買えて嬉しい」との声が聞かれました。お昼も、皆さんが行きたいお店を自由に選んでいただき、外食ならではの雰囲気を楽しむことができました。



おいしいー、満足、満足!!



食べきれないなあ



これが似合うかな～



とってもうまいなあ!!



第45回全国障害者技能競技大会



(10月17日～19日)

就労B型利用者様の棟方信吾さんが第二十四回秋田県障害者技能競技大会「写真撮影部門」で金賞を受賞いたしました。
そして、秋田県代表として愛知県で開催した第四十五回全国障害者技能競技大会「アビリンピック2025」にも出場することができました。他県の方々と交流し大変刺激を受け、今後更に研鑽していきたいと抱負を述べられました。



受賞おめでとう！



第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県



(10月23日～10月27日)

今年もボッチャ競技の秋田県代表として、利用者様の石山久美子さんと藤井信昭さんが出場されました。山口県と沖縄県と対戦し、山口県には敗れてしまいましたが沖縄県に勝利し一勝一敗で準優勝の成績を収めております。プレッシャーにも負けず、練習の成果を発揮でき準優勝となりました。



がんばります！



準優勝おめでとうございます



ねらいを定めて～



それ！



避難訓練



(7月30日・10月29日)

利用者の皆様の安全を守るための避難訓練を年三回実施しています。
職員の放送、誘導の声を聞き、真剣な面持ちで訓練に参加していただきました。
水害やクマの出没といった今までにない災害や事故にも対応が求められていますので、新しい避難計画の策定も考えていきます。



避難するぞ～



避難後の点呼風景



予防接種

(10月17日～19日)

嘱託医の津谷医師によるインフルエンザの予防接種を行いました。職員、利用者合わせて七十六名の方が行いました。皆さん注射の痛みをぐっとこらえて頑張っていました。

昨年の十一月にピークとなり二月頃までは流行が続くとみられています。新型コロナウイルスの感染も一年を通してみられています。

ワクチン接種で完璧に感染を防ぐことはできません。①手洗い②うがい③マスク着用④換気⑤消毒⑥密集した場所を避けるなど、感染防止に有効といわれています。



嘱託医による予防接種



クリスマス会



(12月17日)

豪華な食事やクイズ大会、プレゼント抽選会にと盛りだくさんの内容で、利用者の皆様も笑顔で楽しまれています。そしてゲストにはJR秋田支社吹奏楽部が登場。サックス三重奏の生演奏にうっとり聞き入っていました。



JR秋田支社吹奏楽部



いただきま〜す



メリークリスマス!



クイズ大会



就労B型忘年会



(12月17日)

就労B型の通所利用者様の一年の労を労うことを目的として、忘年会を開催いたしました。カラオケやスカットボール、輪投げ大会を行い楽しい時間を過ごすことができました。



今年1年どうでしたか?



よし、入った!



1年お疲れ様でした



ねらいを定めて〜!

地域連携推進会議

地域連携推進会議は施設等と地域との連携を強化し、利用者様が地域で安心して生活できるようにするための会議で、①利用者様と地域との関係づくり ②地域の人への施設等や利用者様に関する理解の促進 ③施設等やサービスの透明性・質の確保 ④利用者様の権利擁護に繋げていくものです。

●コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム

十月十六日、会議のメンバーは、利用者様、利用者様の家族、地域住民の代表者、福祉に関する知見を有する者、市町村の担当者の五名の方々に出席して頂きました。

事業所の事業内容と現状報告を行い、施設見学後に活発な意見交換が行われました。より一層「開かれた施設」として、利用者と共に地域に出ていく活動を推進していきます。

●秋田ワークセンター

十月二十三日、利用者様、利用者様の家族、地域の関係者、行政関係者の五名の方々に出席していただきました。

施設内を視察していただき、機能訓練、就労支援の作業を頑張っている様子等を見ていただきました。施



地域の方との意見交換



谷内佐渡ホーム

設の概要やサービスの状況や地域との関わり等について説明をし、その後は活発な意見交換をすることができました。利用者様の「地域の暮らし」の推進につなげていくことへの意識の向上、地域との繋がりをさらに深めていく場となりました。

令和7年度 定期健康診断について

六月四日に利用者様と職員の定期健康診断を実施しました。

健康診断は病気の早期発見、早期治療のためだけでなく、自分の健康状態のチェックや生活習慣の見直しのための良い機会です。精密検査が必要と診断された場合は、面倒だからと放置せず、必ず医療機関を受診してください。



軍手製造の説明

新任職員紹介

調理員 青木 侑 亮



九月から勤務させていただきます。調理の経験は約十年間あります。

ますが、初心を忘れずにお仕事を頑張ってください。利用者様に喜んで頂けるよう頑張ります。



生活支援員 船形 美記子

十一月より勤務しております。前は認知症グループホームで勤務しており、その経験を活かし支援に取り組んでまいります。

まだ慣れない点もありますが、利用者の方々に寄り添う支援を心がけていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

利用者入退所

○入所

藤島 広幸様 (令和七年七月二十四日付)
中津川 太様 (令和七年十二月二十八日付)

○退所

仁井田晶子様 (令和七年六月三十日付)
小名 潔様 (令和七年十月二十四日付)

○就労B型利用開始

高橋 陽太様 (令和七年七月十七日付)

○就労B型退所

遠田 彩香様 (令和七年十二月二十八日付)

編集後記

熊の出没が目立ち、施設内でも対応に追われましたが、被害もなく無事新年を迎えられました。寒い日が続きますが、インフルエンザ等の感染症にも予防を徹底して行事や活動を続けたいです。

(仙北谷)